



FLAT PAR TW12

取扱説明書 Ver.100



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は、American DJ FLAT PAR TW12 をご購入いただき、誠にありがとうございます。FLAT PAR TW12 は DMX 規格に対応した、ウォッシャータイプの白色 LED パーライトです。内蔵のプログラムを自動で再生するオートモード、灯体に内蔵されたマイクで拾った音に反応しパターンが変化するサウンドアクティブモードなど、灯体のみでも様々なモードを使用することができ、DMX コントローラーを使って遠隔で操作することもできます。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくために、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- マルチカラー
- サウンドアクティブモード(本体にマイクを内蔵)
- スタティックカラーモード
- オートランモード
- WW/CW//A ディマーモード
- DMX モード(2、3、4、5、8、9DMX チャンネルモードから選択可能)
- ディミング(0%–100%)
- ADJ LED RC3 対応 (別売り)

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。本体に異常がある場合は、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続するには必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源、電圧が正しい事を確認してください。AC100V 50/60Hz にてご使用ください。
5. 電源ケーブルをコンセントから抜く際は、必ずプラグを持って行ってください。
6. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
7. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となりますので予めご了承ください。
8. 本体は壁から約 15cm 以上離れた通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
9. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
10. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
11. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

操作方法

FLAT PAR TW12 の設定は、操作後 30 秒後に自動ロックされます。ロックを解除するには、MODE ボタンを約 3 秒間長押ししてください。

LEDディスプレイの表示・非表示

ディスプレイの表示を、常時点灯、または 10 秒後に自動消灯のどちらかに設定することができます。

1. ディスプレイに“don”、又は“doFF”と表示されるまで、MODEボタンを押します。
2. UP/DOWNボタンを使用し、“don”又は“doFF”と表示させます。

LEDディスプレイ	ディスプレイ表示	動作
常時点灯	“don”に設定	ディスプレイは常時表示を行います。
10秒後に自動消灯	“doFF”に設定	ボタン操作を10秒以上行わないとディスプレイは非表示となります。

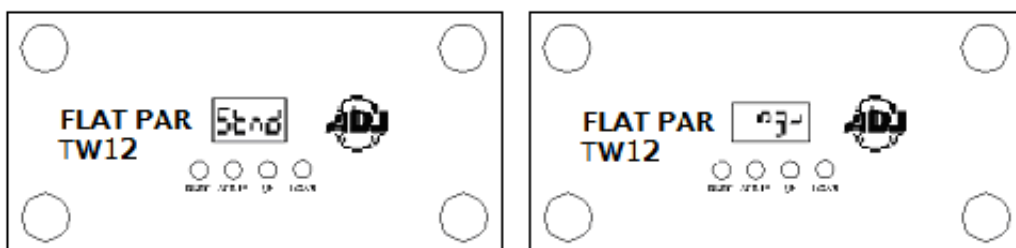
LEDディスプレイの反転表示

ディスプレイの表示を180° 反転させることができます。

1. MODEボタンを押し、ディスプレイに“don”、又は“doFF”と表示させます。
2. “Stnd”と表示されるまで、SET UPボタンで切り替えます。
3. UP/DOWNボタンを使用し、“Stnd”又は“rEv”を切り替えます。

(通常・・・“Stand”に設定)

(180° 反転・・・“rEv”に設定)



操作モードの設定

FLAT PAR TW12には、以下の動作モードがあります。

- サウンドアクティブモード : 外部の音に反応して色が切り替わります。
- スタティックカラーモード : 32色のうち1色を選択して点灯させます。
- オートランモード : 3種類のプログラムから1つを選択して再生します。
- WW/CW/Aディマーモード : 各LEDの明度を調節し色温度が異なるカラーを作ります。
- DMXモード : DMXコントローラーで灯体の制御をおこないます。
- マスター・スレーブモード : スレーブの灯体が、マスターの灯体に同期して動作します。
- デフォルトランニングモード : デフォルトの設定で動作します。

サウンドアクティブモード(音に反応し、異なる色に次々変化していきます。)

1. MODEボタンを数回押し、ディスプレイに“So-X”と表示させます。“X”は1～8までの数字で、サウンドアクティブのパターンを表します。
2. UP/DOWNボタンを使い、“X”を1～8までの任意の値に設定します。(例:“So-8”)
3. SET UPボタンを押します。“SJ-X”と表示されます。このとき“X”は1～8までの数字で、マイクの感度を表します(1=感度最小、8=感度最大)。
4. UP/DOWNボタンを使い、“X”を1～8までの任意の値に設定します。(例:“SJ-8”)

スタティックカラーモード

1. MODEボタンを数回押し、ディスプレイに“CLXX”と表示させます。
“XX”は00～32までの数字で、カラーナンバーを表します。後述のカラーマクロチャートを参照してください。
2. UP/DOWNボタンを使い、“XX”を00～32までの任意の値に設定します。(例:“CL07”)
3. SET UPボタンを押します。ディスプレイに“SXXX”と表示されます。
“XXX”は000～015までの数字で、フラッシュのスピードを表します
(000 = フラッシュなし、015 = フラッシュ最速)
4. UP/DOWNボタンを使い、“XX”を000～015までの任意の値に設定します。(例:“S015”)

オートランモード(①カラーフェード、②カラーチェンジ、③カラーフェード&カラーチェンジ)

1. MODEボタンを数回押し、ディスプレイに“AF-X”、または“AJ-X”、または“A-JF”と表示させます。“X”は1～8までの数字で、各モードのパターンを表します。

	動作モード	表示	“X”の値(任意に選択)	速度調整(“SP.XX”)
①	カラーフェード	“AF-X”	1～8	○(“XX”=01～16)
②	カラーフェード	“AJ-X”	1～8	○(“XX”=01～16)
③	①と②が作動	“A-JF”	-	○(“XX”=01～16)

※ 切り替え方(例)

[MODE]を数回押し→“AF-X”→[UP][DOWN]で“X”を設定→[SET UP]→“AJ-X”→
[UP][DOWN]で“X”を設定→[SET UP]→“SP.XX”→ [UP][DOWN] で“XX”を設定→
[SET UP]→“A-JF”

2. “SPXX”では、1-16までの速度を調整でき、希望の動作モードへ反映されます。
(01=遅い、16=速い)

WW/CW/Aディマーマード(WW=ワームホワイト、CW=クールホワイト、A=アンバー)

1. “H.XXX”と表示されるまでMODEボタンで切り替えます。
2. UP/DOWNボタンを使い、ワームホワイトの設定を行います。“XXX”を000～255までの任意の値に設定します。(例:H.255)
3. SET UPボタンを押します。ディスプレイに“C.XXX”と表示されたら、クールホワイトの設定を行います。
4. UP/DOWNボタンを使い、“XXX”を000～255までの任意の値に設定します。(例:C.255)
5. SET UPボタンを押します。ディスプレイに“A.XXX”と表示されたら、アンバーの設定を行います。
6. UP/DOWNボタンを使い、“XXX”を000～255までの任意の値に設定します。(例:A.255)
7. SET UPボタンを押します。ディスプレイに“S.XXX”と表示されます。
8. UP/DOWNボタンを使い、“XXX”を000～015までの任意の値に設定します。
“XXX”は000～015までの数字で、フラッシュのスピードを表します。
5. (000=フラッシュなし 015=フラッシュ最速)

DMXモード(※各DMXチャンネルモードの動作は後述のDMXチャートを参照してください)

1. MODEボタンを数回押し、ディスプレイに“d.XXX”又は、“No-X”と表示させます。
2. “No-X”が表示された場合、SET UPボタンで“d.XXX”に切り替えます。
3. “XXX”は001～512までの数字で、DMXスタートアドレスを表します。
4. UP/DOWNボタンを使い、“XXX”を001～512までの任意の値に設定します。(例:d.001)
5. SET UPボタンを押します。ディスプレイに“ChXX”と表示されます。
6. UP/DOWNボタンを使い、“XX”を02、03、04、05、08、09の任意の値に設定します。(例:Ch08)“XX”DMXのチャンネルモードを表します。

“Ch02”	2Chモード
“Ch03”	3Chモード
“Ch04”	4Chモード
“Ch05”	5Chモード
“Ch08”	8Chモード
“Ch09”	9Chモード

デフォルトランニングモード

1. MODEボタンを押し、ディスプレイに“don”又は、“doff”と表示させます。
2. ディスプレイに“dEFA”と出てくるまで、SET UPボタンで切り替えます。
3. UPボタンとDOWNボタンを同時に押します。
4. デフォルトの設定に戻ります。

マスター・スレーブモード

1. 複数のFLAT PAR TW12を、3pinのDMXケーブルで接続します。接続の先頭になる機材がMasterユニット、それ以降がSlaveユニットとなります。
※MasterユニットのDMX入力コネクタ、及び、一番最後に接続されたSlaveユニットのDMX出力コネクタには、ケーブルや、ターミネーター等を、接続しないでください。
2. Masterユニットを任意の動作モードに設定してください。
3. SlaveユニットはMODEボタンを押し、“SLAV”と表示させるとMasterユニットに同期します。

DMXステート

DMX信号を失った後の動作を選択することができます。

1. MODEボタンを押し、ディスプレイに“d.XXX”又は、“No-X”と表示させます。
2. “d.XXX”が表示された場合、SET UPボタンで“No-X”に切り替えます。
3. “No-X”の“X”は、0～2の数字で、DMX信号を失った後、下記の設定で動作します。
4. UP/DOWNボタンを使い、“X”を任意の値に設定してください。

“No-0”	BLAC OUT（暗転）
“No-1”	HOLD（DMX信号を失う直前のDMX設定で灯体が動作）
“No-2”	FADE PROGRAM（自動でフェードプログラムに切り替え）

ディマーカーブ

※DMX制御時のディマーカーブを設定します。詳細は後述の表を参照してください。

1. MODEボタンを押し、DMXスタートアドレスの“d.XXX”を表示します。
2. SET UPボタンで“dr-X”に切り替えます。“X”は0～4までの現在のディマーカーブを表します。
3. UP/DOWNボタンを使い、“X”を任意の値に設定してください。

“dr-0”	Standard
“dr-1”	Stage
“dr-2”	TV
“dr-3”	Architectural
“dr-4”	Theater

ADJ LED RC3 を使用したオペレーション(別売り)

FLAT PAR TW12は、赤外線リモコン(ADJ LED RC3)を使用して操作することができます。対応距離は約9mです。FLAT PAR TW12でADJ LED RC3を使用する場合は、まず以下の設定を行います。

1. MODEボタンを押し、ディスプレイに“don”又は、“doFF”と表示させます。
2. SET UPボタンを押し、ディスプレイに“IrXX”と表示させます。“XX”は“on”か“oF”を表します。
3. UP/DOWNボタンを使い、“Iron”に設定します。(※“IroF”で操作無効になります)

■ADJ LED RC3(赤外線リモコン)

BLACK OUT	灯体を暗転させます。
AUTO RUN	オートランモード(①カラーフェード、②カラーチェンジ)になります。SPEED ボタンを押したあと“+”“-”ボタンで、スピード調節が可能です。
PROGRAM SELECTION	スタティックカラーモードになります。“+”“-”ボタンで32色から1色を選択します。
FLASH	灯体にストロボ動作をさせます。“+”“-”ボタンで点滅のスピードを設定します。再度FLASH ボタンを押せば、ストロボは解除されます。
SPEED	オートモード(①カラーフェード、②カラーチェンジ)時のスピード調整をします。“+”“-”ボタンで、スピード調節を行います。灯体がサウンドアクティブモードの際は、SPEED ボタンと“+”“-”ボタンを使用して、マイクの入力感度の設定を行います。
DMX MODE	DMXchモード、DMX スタートアドレス、DMX ステート、ディマーカーブの設定を行います。任意のモードを設定したあと、“+”“-”ボタンを使用して任意のパターンを選択します。
SOUND ACTIVE	灯体をサウンドアクティブモードに設定します。“+”“-”ボタンを使用して、既存プログラムから1つを選択します。サウンドアクティブモードに設定した場合、SPEED ボタンと“+”“-”ボタンを使うことにより、内蔵マイクの入力感度を調節することができます。
SLAVE	マスター・スレーブモード時に SLAVE ボタンを押すことで、灯体を SLAVE として認識させることができます。
SET ADDRESS	DMX のスタートアドレスを設定します。以下のような手順で設定します。 例) スタートアドレスを1に設定する場合 1、SET ADDRESS ボタンを押す

	2、数字ボタンを0、0、1の順に押して行く
WW CW A	WW(ワームホワイト)、CW(クールホワイト)、A(アンバー)を点灯します。“+”“-”ボタンを使い、明るさを調節することができます。
“+”“-”	ストロボやオートラン時の速度調整、プログラム選択、サウンドアクティブモード時の内蔵マイクの感度調整に使用します。

DMXチャート

2チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	カラーマクロ (カラーマクロチャート参照)
2	0-255	ディマー (0 - 100%)

3チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	WW ワームホワイト (0→100%)
2	0-255	CW クールホワイト (0→100%)
3	0-255	A アンバー (0→100%)

4チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	WW ワームホワイト (0→100%)
2	0-255	CW クールホワイト (0→100%)
3	0-255	A アンバー (0→100%)
4	0-255	ディマー (0→100%)

5チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	WW ワームホワイト (0→100%)
2	0-255	CW クールホワイト (0→100%)
3	0-255	A アンバー (0→100%)
4	0-255	ディマー (0→100%)
5	0-31	ストロボ LED オフ
	32-63	LED オン
	64-95	ストロボ 遅い - 速い
	96-127	LED オン
	128-159	ストロボ 遅い - 速い
	160-191	LED オン
	192-223	ランダムストロボ 遅い - 速い

	224-255	LED オン
--	---------	--------

8チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	WW ワームホワイト (0→100%)
2	0-255	CW クールホワイト (0→100%)
3	0-255	A アンバー (0→100%)
4	0-255	ディマー (0→100%)
5	0-31	ストロボ LED オフ
	32-63	LED オン
	64-95	ストロボ 遅い - 速い
	96-127	LED オン
	128-159	ストロボ 遅い - 速い
	160-191	LED オン
	192-223	ランダムストロボ 遅い - 速い
	224-255	LED オン
6	0-255	カラーマクロ (カラーマクロチャート参照)
7	0-127	プログラム -
	128-135	カラーフェード 1
	136-143	カラーフェード 2
	144-151	カラーフェード 3
	152-159	カラーフェード 4
	160-167	カラーフェード 5
	168-175	カラーフェード 6
	176-183	カラーフェード 7
	184-191	カラーフェード 8
	192-199	カラーチェンジ 1
	200-207	カラーチェンジ 2
	208-215	カラーチェンジ 3
	216-223	カラーチェンジ 4
	224-231	カラーチェンジ 5
	232-239	カラーチェンジ 6
240-247	サウンドアクティブモード 1	

	248-255	サウンドアクティブモード 2
8	0-255	プログラムスピード/サウンド感度
	0-255	プログラムスピード遅い - 速い
	0-255	サウンド感度 MIN - MAX

※6ch(カラーマクロ)使用時は、1ch、2ch、3chは、動作しません。

※7chが128-239の値の時は8chでプログラムスピードの設定になります。

※7chが240-255の値の時は8chでサウンド感度の設定になります。

9チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	WW ワームホワイト (0→100%)
2	0-255	CW クールホワイト (0→100%)
3	0-255	A アンバー (0→100%)
4	0-255	ディマー (0→100%)
5	0-31	ストロボ LED オフ
	32-63	LED オン
	64-95	ストロボ 遅い - 速い
	96-127	LED オン
	128-159	ストロボ 遅い - 速い
	160-191	LED オン
	192-223	ランダムストロボ 遅い - 速い
	224-255	LED オン
6	0-255	カラーマクロ (カラーマクロチャート参照)
7	0-127	プログラム -
	128-135	カラーフェード 1
	136-143	カラーフェード 2
	144-151	カラーフェード 3
	152-159	カラーフェード 4
	160-167	カラーフェード 5
	168-175	カラーフェード 6
	176-183	カラーフェード 7
	184-191	カラーフェード 8
	192-199	カラーチェンジ 1

	200-207 208-215 216-223 224-231 232-239 240-247 248-255	カラーチェンジ 2 カラーチェンジ 3 カラーチェンジ 4 カラーチェンジ 5 カラーチェンジ 6 サウンドアクティブモード 1 サウンドアクティブモード 2
8	0-255 0-255	プログラムスピード/サウンド感度 プログラムスピード遅い - 速い サウンド感度 MIN - MAX
9	0-20 21-40 41-60 61-80 81-100 101-255	ディマーカーブ STANDARD STAGE TV ARCHITECTUAL THEATRE デフォルトセッティング

※6ch(カラーマクロ)使用時は、1ch、2ch、3chは、動作しません。

※7chが128-239の値の時は8chでプログラムスピードの設定になります。

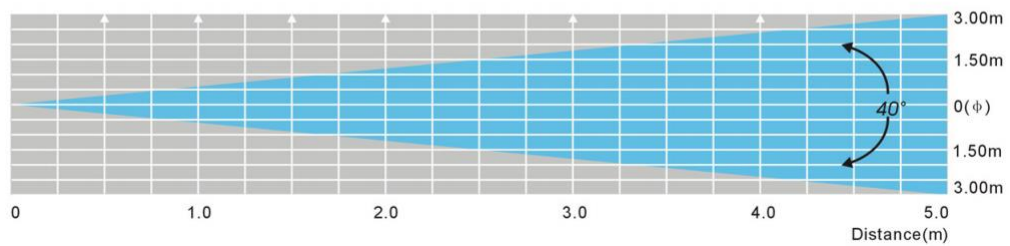
※7chが240-255の値の時は8chでサウンド感度の設定になります。

カラーマクロチャート

Color No.	DMX VAULE	WW/CW/A COLOR INTENSITY			Color No.	DMX VAULE	WW/CW/A COLOR INTENSITY		
		WW	CW	A			WW	CW	A
Color1 (off)	0	0	0	0	Color18	128-135	1	134	201
Color2	1-7	255	206	143	Color19	136-143	0	145	212
Color3	8-15	254	177	153	Color20	144-151	0	121	192
Color4	16-23	254	192	138	Color21	152-159	0	129	184
Color5	24-31	254	165	98	Color22	160-167	0	83	115
Color6	32-39	254	121	0	Color23	168-175	0	97	166
Color7	40-47	176	17	0	Color24	176-183	1	100	167
Color8	48-55	96	0	11	Color25	184-191	0	40	86
Color9	56-63	234	139	171	Color26	192-199	209	219	182
Color10	64-71	254	5	97	Color27	200-207	42	165	85
Color11	72-79	175	77	173	Color28	208-215	0	46	35
Color12	80-87	119	130	199	Color29	216-223	8	107	222
Color13	88-95	147	164	212	Color30	224-231	107	156	231
Color14	96-103	88	2	163	Color31	232-239	165	198	247
Color15	104-111	0	38	86	Color32	240-247	0	0	189
Color16	112-119	0	142	208	Color33	248-255	165	35	1
Color17	120-127	52	148	209					

配光表

WW	D40	2530	600	216	137.6	88.5	lux
CW	D40	3220	796	350	196	128	
Amber	D40	2020	507	218	123	79	
WW/CW/A	D40	6760	1650	733	393	253	



DMX-512 について

DMX-512

DMX512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMXリンク

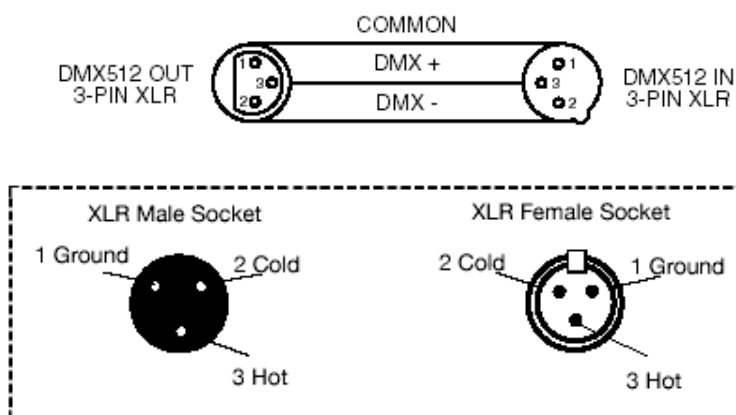
DMXデータの正確な送受信を行う為、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

FLAT PAR TW12 は最大 7DMX チャンネルを使用するユニットです。DMX アドレスは本体の背面ボタンで設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルをご使用ください。



DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。



5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

メーカーによっては 3 ピン XLR コネクタの代わりに 5 ピン XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクタを FLAT PAR TW12 に接続する際は変換アダプターをお使いください。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う際は、電源をオフにして、電源ケーブルを抜いてください。ガラスクリーナー等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

外側カバーのクリーニング

カバーが汚れると、光が内部に乱反射し、熱がこもりやすくなります。ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、メガネ拭き等の柔らかい布で汚れをふき取った後、から拭きを行ってください。

信号ケーブル、電源ケーブル差込口のクリーニング

差込口部分に、ほこりや汚れがつくと、ショートや灯体の動作不良を起こす原因となることがあります。エアードスターやブラシ等を使い、汚れやほこりを除去し、差込口にぐらつき等が無いかご確認ください。

ねじの増し締め

各部のパーツが固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。各パーツが正しく固定されているか、緩んでいるようであれば、ねじの増し締めを行ってください。

ヒューズ交換方法

1. 本体から電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口の隣にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで引き出して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを元に戻します。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">正しい電源・電圧に接続されているか電源ケーブルが損傷していないかヒューズが切れていないか
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none">接続に問題がないか正常な DMX ケーブルを使用しているかDMX チャンネルとモードが正しく設定されているか
サウンドアクティブで動作しない	<ul style="list-style-type: none">外部音が小さい音や高音でないか感度が低く設定されていないか

製品仕様

モデル	FLAT PAR TW12
LED 数	12 × 5W 3 in 1 TRI LED
DMX チャンネル数	2、3、4、5、8、9 チャンネルモードの中から選択
ビーム角度	40 度
ヒューズ	2A
消費電力	61W
使用電圧	AC100V、50/60Hz
寸法	328 x 280 x 105
重量	3.25Kg

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

